

野口武彦

言葉と声音

小説言語ことはじめ

日本の言文一致の成立根拠を探り、
21世紀への書記言語のゆくえをかきまみる

文学をどう読むか、どう考えるか!の第2弾

「東海道中膝栗毛」から、二葉亭四迷、樋口一葉、岩野泡鳴、岡本かの子を対象に、声・音の聴覚から小説の書記言語の形成を問う、本格的な新たな文学論。

初めに聴覚ありき。「俗語」(話し言葉)の声音、声の力であり、響きのなせるわざからの語り口を介してのみ聞こえてくる深部の声を聞き取る始原的な聴覚が横たわっている。耳ことばから、小説がいかに書かれたか、その「ことはじめ」を探る明確な考察。

文学を根源から見直す思考は、「知の新書」から始まっている!!



192 ページ 新書版型。
定価 1430 円 (本体 1300 円+ 10% 税)
ISBN 978-4-924671-79-9
C0090

受注〆切月 10月6日

野口武彦 (のぐち たけひこ)

文学研究者。

■ 2023年11月6日に取次搬入
(トーハン、日販、楽天より) いたします。

■ 受注〆切後も、電子メールでのお問い合わせ、ご発注も受け付けております。

honyasan_order@chinoshinsho.com
tel:03-3580-7784(知の新書担当宛へ)

神戸大学文学名誉教授。ハーバード大学客員研究員プリントン大学・
プリティッシュコロロンビア大学客員教授を務める。

1973年、『谷崎潤一郎論』で亀井勝一郎賞、1980年、『江戸の歴史家』
でサントリー学芸賞、1986年、『源氏物語』を江戸から読むで芸
術選奨文部大臣賞、1992年、『江戸の兵学思想』で和辻哲郎文化賞、
2003年、『幕末気分』で読売文学賞受賞など。

受領印	文化科学高等研究院出版局 tel.03-3580-7784 fax.050-3383-4106		ご注文数
	言葉と声音 — 小説言語ことはじめ		冊
	野口 武彦	定価 1430 円	
	ISBN 978-4- 924671-79-9 C0090	¥1300	
	電話番号	—	—
FAX	—	—	
	ご担当者様名		

知の新書・受注 FAX : 050-3383-4106 までご注文お待ちしております。

メール : honiyasan_order@chinoshinsho.com